

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていた
だきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 大田区立赤松小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等教育学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒145-0062
東京都大田区北千束 2-35-8

E-mail : akmt-e1@educet.plala.or.jp

Website : http://academic2.plala.or.jp/akmte/

児童生徒数：男子 234 名 女子 216 名 合計 450 名
 児童・生徒の年齢 6 歳～ 12 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか (問題解決能力の育成)

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

1 取り組みの概要

本校は、日々の授業において、児童の主体性を生かした問題解決的な学習や体験的な学習を重視し、永年にわたって国や都、区の指定を受けた研究校としての実践を着実に積んでおり、平成24・25年度は大田区の研究推進校の指定を受け、理数教育の充実を中心に授業の質的改善に取り組んでいる。26年度からはESD教育を研究の柱に掲げ、これまでの理数教育と関連付けて「心豊かで、主体的に活動する、国際社会の一員としての自覚をもった子供の育成」をテーマに研究を推進している。

地域環境としては、観光名所である「洗足池」が近くにあり、都心にありながら豊かな体験活動ができ、1・2年生は動植物の生態について、3年生は地域の自慢について、4年生は地域の歴史について調べ、5年生は池の地形を生かした田んぼで田植えから稲刈りまでの稲作体験を行っている。6年生は、池の周りのユニバーサルデザインを考える。また、夏休みには、「洗足池自然講習会」や「洗足池水棲生物調査」、「洗足池公園清掃ボランティア」等の活動を企画し、全校の児童が地域と密接に関わっている。さらに、近隣の幼稚園や保育園、高齢者の施設との交流や校内の異学年交流が盛んで、児童の自主的・実践的な態度を育み、望ましい人間関係を築いていく活動を日常的に重視している。

こうした本校の教育活動を更に充実・発展させるとともに、地域との協力体制の構築のために、昨年度「スクールサポートあかまつ」（学校支援地域本部）が発足し、学習支援（家庭科や音楽、生活科や総合的な学習の時間、大田外国語活動等のTT支援）・課外活動支援（読み聞かせや夏休みの体験講座のゲストティチャー）・学校運営支援（図書室の整備や校内の装飾、花壇の手入れ、階段手すり塗装等）のボランティアが組織化され、教育活動の充実がより一層図られている。

また、本校と一貫教育を進める大田区立大森第六中学校は平成23年にユネスコスクールに加盟し、現在、生徒会・児童会活動の交流（あいさつ運動、エコキャップ回収運動、古着回収運動、ボランティア清掃等）や運動会や学校公開をはじめとする学校行事の交流、日々の情報交換、教員間の研修の充実などを進めている。本校と大森第六中学校の連携のもと、ユネスコスクールとして同じ目的、方向性の下で更なる連携が深まっている。

これらの活動を有機的に関連付けることによって、全校で持続発展教育を推進している。

2 取り組みの内容

ESD テーマ「心豊かで、主体的に活動する、国際社会の一員としての自覚をもった子どもの育成」

I 「算数・理科を中心とした教科学習」

- 1 目的：「問題解決能力」、「コミュニケーション能力」、「学び方・自己の生き方」を育成する。
- 2 内容：主体的・創造的・協同的な学習を重視し、問題解決の学習過程を
「①つかむ→②見通す→③いどむ→④深める→まとまる→⑤振り返る→生かす」の5つの場面をとらえ、授業の質の改善を図っている。

II 「地域学習を中心とした生活科・総合的な学習の時間」

【洗足池を中心とした活動】

- 1 目的：洗足池の歴史的背景と、自然・環境から学んでいく。地域を愛し、地域の一員である自覚を育む。

2 内容：

- 1年 「いきもの大すき」（虫の観察）
- 2年 「街たんけん」（活動の中で、洗足池の良さを知る）
- 3年 「まちのじまんのひみつをさぐる」「まちのじまんをしょうかいしよう」
- 4年 「昔のすがたを調べよう」
- 5年 「お米の未来を考えよう」（洗足池での稲作体験活動）
- 全校 「洗足池自然講習会」（手漕ぎボートの乗り方教室・水棲生物について講義）
「洗足池水棲生物調査」（水棲生物の採取・観察）
「洗足池公園清掃ボランティア」

【幼稚園との交流】（第1・2学年）

- 1 目的：幼稚園児とかかわり、相互理解を図る。幼稚園児の小学校へ進学する不安を取り除く機会とする。先輩としての思いやりの心を育む。
- 2 内容：生活科（14時間）の時間、学校に近隣の幼稚園児を迎え、一緒に遊んだり、小学校の紹介をしたり、1年前の自身のことを振り返りながら、接し方などを学習する。

【小動物（モルモット）の飼育】（第1・2学年）

- 1 目的：小動物との触れ合いを通して育つ命のしくみや、自然との関わりを学ばせ、命を育む責任感を育てる。
- 2 内容：生活科の時間に、毎週数人でグループをつくり、4匹のモルモットのケージの清掃をしたり遊んだりしたことをもとに作文を書いている。

【地域の高齢者との交流】（第2学年）

- 1 目的：高齢者と接して、相互理解を深め、思いやりの心を育む。
- 2 内容：生活科の時間に、地域の老人ホームを訪問し、歌を披露したり、ゲームと一緒に楽しんだりしている。また、学校に招待し、ふれあい給食等の活動を行っている。

Ⅲ 「異学年交流を中心とした特別活動」

【なかよし班活動】

- 1 目的：「なかよし班活動」（異学年による縦割り班活動）を軸にした様々な集団活動を通して、よりよい学校生活の運営に参画し、自他を認め合って生活する「共生的人間関係」を築こうとする態度を育てると共に、社会において自分を生かす能力を養う。
- 2 実施計画：毎月数回実施（授業前 15 分間、中休み 25 分間、掃除時間の 15 分間）
年 2 回集会活動実施
- 3 内容：全学年が 1～6 年生までの異学年で構成した 16 のグループに分かれ、6 年生がリーダーシップをとり、計画・運営をすすめている。けん玉や運動タイムなどの集会活動、清掃活動、交流給食、休み時間の遊び等を行う。

【金管バンド】

- 1 目的：6 年生が全員で金管バンドに取り組むことにより、協力し合い演奏する気持ちを育むと共に、次の 5 年生に引き継ぐための教え合い活動の中で、後輩を育て、自身の成長を感じ取らせる。
- 2 内容：55 年の伝統があるもので、6 年生が全員で金管バンドに取り組んでいる。毎日の朝練習や授業の中で練習をし、PTA 行事や入学式、卒業式、区の大ホールでの発表、地域の行事などでの演奏をしている。また、運動会では、マーチングドリルも行っている。

IV 「食育」

「和食」がユネスコ無形文化遺産に登録されたことを受け、食育のテーマとして和食に注目し、企業と連携して砂糖と和食のつながりについて学習した。その日の給食は、料理人武本賢太郎氏考案による砂糖を使ったメニューで、大好評だった。今後さらに和食のよさを子供たちに伝えていく食育を重視していく。

(2) 活動時間について (下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用 (総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他 ()